教育ひょうご

発行所 神戸市中央区中山手通4丁目10－8
兵庫県教職員組合
発行人 兵庫県教職員組合 代表者 川原芳和
編集人 小西宏典
電話 050（3538）2346
1部15円 年定価360円
（組合員の購読料は組合費の中に含む）

2019/11・1
No. 1986
2面

・教育課程編成講座（後期）

こころの通いあう職場づくりにむけた申し入れを提出！

兵教組は10月25日「こころの通いあう職場づくりにむけた申し入れ」を県教委に提出した。10月に県内市立小学校において複数の教員による同僚教員への暴行事件が発覚した。事件の詳細については、設置された調査委員会の中で明らかにされていくものと考えられるが、いじめを許さず対応すべき教員が同僚教員に対して集団で暴行するという事実は、児童生徒の尊厳を傷つけ、学校への信用信頼を大きく損ねる結果となった。この事実を厳粛に受け止め、学校長のリーダーシップのもと、「チーム学校」の機能を発揮し、再発防止にむけたとりくみをはじめ、兵庫の教育への信頼回復に全力でとりくむ必要がある。

○申し入れ内容

1．「こころの通いあう学校運営について（通達）」、「教職員の資質向上に関する懇話会（報告）」をいかし、教育活動を支援する体制の充実、学校組織の活性化にむけて教職員の信頼関係を構築する協力・協働の職場づくりを一層推進すること。

(1)「教職員人事評価・育成システム」については、こころの通いあう学校運営を通して教職員の職務意欲を十分に引き出し、力量向上と教育活動の充実に資するものとなるよう、5原則2要件が定着した制度とすること。

(2)「主幹教諭の担当する校務の発令について」をふまえ、信頼関係のもとにすべての教職員が一致協力できる、こころの通いあう学校づくりを推進する主幹教諭制度として定着させること。

(3)改正労働安全衛生法および文科省通知をふまえ、相談体制の充実を含む教職員の健康確保措置が確実に履行されるようすべての学校における労働安全衛生管理体制の確立にむけて対策を講じる。

(4)管理職研修において、各種ハラスメント指針をふまえた研修の一層の充実をはかること。

(5)管理職および教職員の喫緊の課題となっている長時間労働の常態化を早急に改善し、実感できる勤務時間の適正化を強力に推進すること。

▶西上教育長に申し入れ書を提出

第1回給与確定交渉

兵教組は10月29日、県教委と第1回給与確定交渉をおこなった。

西上兵庫県教育長は、「皆様方には、兵庫の教育のため、日頃から各種のとりくみにご協力をいただき、また、様々な教育課題にご尽力をいただいていること、この場をお借りして感謝申し上げる」と述べ、「本日の段階では、まだ具体的な回答をすることはできない」として、人事委員会の報告および勧告の内容を説明し、国・他府県の状況、依然として厳しい県財政等の諸情勢を述べるにとどまった。次に、教育長からの説明および口頭伝達事項等の確認を受けて、9項目について、兵教組の考えを伝えた。（下記参照）

人事委員会の要請をふまえた給料および諸手当等の検討を！

公民比較方法の見直しや独自カットなど、苦渋の判断の中で、要請にこたえてきた事実を重く受け止めてほしい。給料及び諸手当等の検討にあたっては、この間の経緯を念頭に置きながら、すべての教職員のモティベーションの維持・向上をはかる観点から誠意ある対応をもとめる。

現給保障に該当する高齢層教職員は、「公民比較方法の見直し」後の対応関係により公民較差が算出されたことで、公民較差に比べ現給保障廃止の影響の方が大きくなる。この世代が、阪神・淡路大震災からの教育的復興、行革を支えてきた事実もふまえ、モティベーションの維持・向上につながる検討をもとめる。

また、管理職手当の減額措置の完全解消をもとめる。

通勤手当の全額実費支給を！

パークアンドライドに伴う加算措置について、離島に勤務する組合員から期待が寄せられている。一方で、学校の敷地内駐車場が有料となっていたり、制限されたりしているために駐車場代を自己負担している実態もある。旅行諸費の定額支給が廃止され、旅費支給が実費支給となっている中で、通勤手当については実費支給となっていない現状もふまえ、誠意ある検討をもとめる。

住居手当の検討は不要！

勧告で言及されていない事項であり、確認した通りであるので、検討は不要である。

抜本的な働き方改革の推進を！

学校現場では、新学習指導要領全面実施が迫る中、学習内容の増加に伴う授業時数増や新しい学習評価への対応など、差し迫った新たな業務が増加する一方で、既存業務の大胆な削減や定数改善が一向にすすまず、一日7時間45分の勤務時間に見合った業務量となっていないことは明らかである。加えて、持ち帰り仕事も常態化している中、労働安全衛生法上の勤務時間の把握でも、持ち帰り仕事は含まれていない。教職員の過労死事案が起こった場合、現状、公務災害認定に関わって、把握されていない持ち帰り仕事の立証は困難を極める状態であり、勤務環境の整備の観点からも問題がある。長時間労働の是正は、喫緊の課題である。教職員の健康への影響、人材確保への影響などの観点からも、教職員が勤務時間適正化を実感できる大胆な業務削減をはじめ、健康でいきいきと定年まで働き続けることのできる持続可能な働き方となるよう抜本的な働き方改革をすすめてほしい。

少数職種の短時間再任用制度の実現を！

高齢期の雇用に関わって、地域によっては希望する教科での任用がない中学校の教員をはじめ、希望に沿う任用がないため再任用をはじめからあきらめてしまっている実態をふまえ、希望する勤務形態に見合ったものとなるよう検討をもとめる。

あわせて、会計年度任用職員制度の考え方と同様、同一労働同一賃金の考え方にもとづき、一時金を含む賃金水準の改善にむけて検討をもとめる。

教員の国籍条項の撤廃を！

一人ひとりの持つ個性と能力を発揮する観点や、勤務成績・実態に応じた昇格機会を確保する観点からも、人権尊重の精神を基盤とする教育に携わる者が不合理な取り扱いとなっている現状を改善いただきたい。

臨時的任用教職員等の処遇改善を！

定員枠内の臨時的任用教職員は、2学期スタート時点で小・中学校だけでも、2，000人、非常勤講師についても、600人を超す配置となっており、学校現場は、臨時的任用教職員・非常勤講師に支えられている実態がある。来年度より、会計年度任用職員制度が導入されることに伴い、すべての者が人事評価の対象となるが、再度の任用を保障するものではないため、意に沿わない非常勤での任用となったり、任用自体がなかったりすれば、社会保険資格が継続されなくなる等の課題が引き続き残る。

併せて、学校事務職員・経験者採用試験については上限年齢が設定されているため、正規採用の道が開かれていない状況にある。

学校現場でなくてはならない重要な役割を担っている者に対して、更なる待遇改善にむけ誠意ある検討をもとめる。

こころの通いあう職場づくりを！

10月25日に申し入れをおこなった「こころの通いあう職場づくり」に関わって、私たちも、再発防止にむけたとりくみをはじめ、兵庫の教育への信頼回復にむけて全力でとりくんでいかなければならないと考えている。引き続き誠意ある対応をもとめる。（上記参照）

誠意ある給与確定交渉を！

各専門部別、課題別の要求項目については、各種「申し入れ書」で明らかにしているので、早急に関係各課と担当役員で協議したいと考えているので、実現に向けて、関係各課の誠意のある対応をもとめる。

教育長は「様々なご意見や強い思いにつきましては、重く受け止め、今後の皆様方との協議において、引き続き真摯な姿勢で対応を検討させていただく」と回答し、交渉を終えた。

※詳細は闘争速報No.7参照

自動車共済

教職員のためだけの共済だから

「公務中」「通勤中」の事故は等級ダウンなし！

公務中の事故　どの契約コースでも「等級据置」だから更新時の掛金アップなし！

通勤中の事故　補償充実コース6等級以上なら「等級据置」だから更新時の掛金アップなし！
1共済期間につき1回

ご契約にあたっては必ずパンフレットおよび重要事項等説明書（契約概要・注意喚起情報）をご覧いただき、制度内容をご確認ください。

あんしんむすぶ
教職員共済

資料請求 お問い合わせは
▼
教職員共済生活協同組合
兵庫県事業所

〒650-0004
神戸市中央区中山手通4丁目10-8
ラッセホール4F

電話（078）221-9730
FAX（078）221-1199

承19-56-02（1907）

シンポジウム　2019年8月8日　教育課程編成講座（後期）

『地域と学校の関係を問い直そう』

コーディネーター	教育課程部会　協力研究所員	島 善信さん
パネリスト	教育課程部会　研究所員	長谷川 剛さん
パネリスト	宍粟市教職員組合	讃岐 等さん
パネリスト	教育課程部会　研究所員	坂本 和宏さん

地域は、子どもたちの新しい姿の発見の場である

8月7日・8日の2日間、第46回教育課程編成講座がラッセホール・神戸市教育会館・ひょうご共済会館でおこなわれた。

2日目に開催された後期講座の全体会では、「地域と学校の関係を問い直そう」をテーマに、コーディネーターに島善信さん（教育課程部会協力研究所員）、シンポジストに長谷川剛さん（教育課程部会研究所員）、讃岐等さん（宍粟市教職員組合）、坂本和宏さん（教育課程部会研究所員）を迎え、シンポジウムをおこなった。（要旨）

また、午後からは、10の教科系分科会が開催された。協力研究所員や研究所員を中心に、全国教研の還流や授業で役立つワークショップ、実技などの講座が企画された。参加者は、熱心に討議し、地域間交流をおこなった。

宍粟市教職員組合　讃岐　等さん

宍粟市の千種町は、05年に市教委から、「幼稚園、小学校、中学校が連携して、教育を進めていかなければいけない」と最初に指定を受けて研究を始めた。また、09年から「コミュニティスクールの調査研究校」に指定をされ、千種中学校区で初めての学校運営協議会がおこなった「確かな学力状況調査」結果を分析・共有し、高校の教職員も一体となって指導方法の工夫・改善をはかるとともに、児童・生徒の学力の育成にとりくんでいる。

また、行事では、園・小・中・高が同じ日にオープンスクールをおこなったり、合同で文化祭やマラソン大会もおこなったりしている。また、町内のクリーン作戦や中学校と高校が合同で体育祭をおこなっている。

地域から子どもたちの声が聞こえなくなり、地域から学校がなくなると、地域がだんだん過疎化する。そのため、園・小・中・高のとりくみをずっと続けてほしいという地域住民の声もある。学校教育に対して地域住民の方々の関心が高いのが、千種町の強みである。

発足した。その時、保護者や地域住民が学校経営に協力する体制を確立し、千種高校と千種中学校が県内初の連携型中高一貫教育校になった。こども園、小学校、中学校、高校がすべて同じ教育目標を持って、めざす子ども像を共有することから始まり、4校の一貫教育推進委員会が発足した。その中で、15年間の教育を見すえ、歩調をあわせるために様々な部会を立ち上げ、きめ細かな動きをしてきた。

まず学習では、小・中の人権教育カリキュラムを作成したり、小学校の外国語担当教職員と中・高の英語科教職員で英語教育研究にとりくみ、小・中・高で一貫した英語教育をすすめたりしている。さらに、園・小・中・高の教職員がそれぞれの出前授業や、小・中・中・高の教職員が同じ学習目標を持って、教育課程編成をおこなっている。

教育課程部会協力研究所員　島　善信さん

社会は大きく変化している。将来をなんとか明るくしようという動きの中で、「果たしてこれまでと同じような授業、学校教育でよいのだろうか」ということを厳しく問い直すことが、今もとめられている。現場や兵教組の議論でも、どのような教育をめざせばいいのか考え続けていることだろう。

この危機を乗り越えるために、OECDは新たに、3つの力が必要であるとしている。「人と協力しながら新しいものを生み出す力」「衝突をうまく調整する力」「責任をとる力」。このような3つの力を学校で身につけるカリキュラムを作る必要がある。全世界でこのカリキュラムを作ろうと呼びかけがなされたところである。このような力をどう使い、どう問題解決するのか、社会貢献あるいはよりよい自分を作り出すこと、これがこれからの学力だと整理された。

私たちは「主体的・対話的で深い学び」の授業改善、多様な他者と協働することの重要性を実感しながら、家庭や地域社会と連携しつつ、体系的かつ継続的に実施できるようにしなければならない。また、「コミュニティスクール」は学校運営のあり方を変えようということである。学校は教職員だけのものではない。地域の人々や様々な人たちと一緒になって学校をつくっていく時代である。これからは学校と地域は対等に、パートナーとしての関係をつくっていかなければならない。これからどのような活動をあみ出していくかが課題である。学校や地域は様々な資源に囲まれている。これをどう活用していくか、学校教育の活性化や充実に役立てていくのか、ということも課題になっている。

▲分科会の様子

教育課程部会研究所員　長谷川　剛さん

白鷺小中学校の職員室は1つである。小中学校の教職員約80人が1つの部屋に集まる。私は6年生の担任だが、後ろを振り返ると中学校の先生がいるので様々な話ができる。『プログラミング教育』と言われているが、中学部ではどうされていますか」と尋ねると、中学部の先生がすぐ答えてくれる。非常によいことだ。しかし、中学部棟に職員室があるため、小学部棟から移動に5分程時間がかかってしまう。

「地域」とは何か。本校は、クラスや学年によって違いはあるが校区外から通っている子どもも多い実態がある。以前の県教研（総合）で校区は行政区であるが、地域は人と人とのネットワークという話があった。校区内に保護者がいない場合もあるが、白鷺をみんなで盛り立てようという思いを大切に、統合前の学校・地域・保護者の関係からよりよい関係をどのように探っていけばよいか考えることがある。

また、「学校はどんな場所なのか」ということを自分の中でずっと問い直している。「学校は子どもが育つ場所」と思っているが、中心にいるのは子ども。子どもにとってどうなのか、もう少し議論されるべきである。「制度」が前に立つと、子どものことは薄れてしまう。これから学校が強くなっていくためには、保護者や地域とつながっていくことが大切である。「どんなふうに子どもたちが育ってほしいか」という共通の目標を、学校・地域・保護者と確認してすすんでいくことが不可欠である。学校はこれをするために家庭教育はこうしてほしいなどの話が学校からできるのではないかと思う。

▲分科会の様子

教育課程部会研究所員　坂本　和宏さん

建屋小学校は、昨年度から「小規模特認校」として出発した。小規模特認校制度とは、本校の場合、養父市全体に校区を広げ、市内どこからでも本校に通学することを可能とするものである。様々な地区から来てもらうために、本校の魅力を発信し続けている。

その一つに、「グローバル化」がある。本校は児童数が44人の小さな学校だが、ALTが職員として常駐している。よって、いつでもALTを交えた授業が可能である。また、ALTと共に給食を食べ、掃除をし、休憩時間には遊ぶ等、様々な活動を一緒におこなっている。

さらに、「オンライン英会話」を行っている。これは、年間20回、フィリピンのオペレーターとインターネット回線を通じて顔を合わせ、テキストを介在させながら英会話をおこなうものである。

今年の夏休みには、市の教育委員会と本校学校運営協議会が主催して、本校の6年生に希望を募り、5泊6日の日程でオーストラリアの小学校との交流事業をおこなった。

このように、英語によるコミュニケーション能力を高める活動を行うほか、兵庫県立ピッコロ劇団の方を年間5回招聘し、表現力を高めるための活動をおこなっている。その活動を生かし、秋には地域の素材を劇にした「ふるさとときのや物語」を地域の方に見ていただく機会を設けている。

本校は、地域と密接につながりをもつ学校である。運動会は自治協議会との共同開催、田植え・稲刈り体験や、いちご狩り・ブルーベリー収穫体験などもおこなっている。また、地域の川に遊びに行くなど、地域に出かけていく活動を数多くおこなっている。このほか、地域の方や老人会の方を教室に招き、一緒に裁縫をしたり、フイルムケースで笛を作ったり、火おこしをおこなうなどの「ふれあい参観日」という活動も行っている。

学校と地域との関係が良ければ、「コミュニティスクール」は大きな効果があげられると考える。しかし、一度地域との関係が崩れてしまうと、学校や子どもたちにとって、かえってマイナスの影響を与えるのではないかと危惧する。

▲分科会の様子

兵庫県教育会館 ラッセホール 70th Anniversary
永年のご愛顧に感謝を込めて
兵庫県教育会館 ラッセホール
70周年記念フェア

Fleur Lasse Hall Infomation
フルール 2019年10月号
「兵庫県教育会館」は、1949年に創業し、70年を迎える事ができました。永年に渡り、ご利用のお客様に感謝の気持ちを込めて「70周年記念フェア」を開催いたします。

第三弾
秋のバンケットプラン

2019年10/1(火) ▸▸ 2019年11/30(土)
親睦会、交流会、同窓会、各種ご宴会など、様々なシーンに
2時間制 20名様～

お料理＋フリードリンク
ブッフェ形式にすると、料理が一品(おまかせ)追加でさらにお得に!
特典 日曜日・祝日のご利用…フリードリンク1アイテム追加、または一文字看板サービス

Aコース　和・洋 料理　お一人様(税金・サービス料込) 5,000円
◆サーモンとアボカドのマリネ
◆オードブルバリエ
◆蓮根とベーコンの秋サラダ
◆たっぷりトウモロコシのフライ
◆秋刀魚と鰤のピリ辛ソース
◆鶏モモ肉のブランケット仕立て
◆季節の炊き込みご飯
◆椀子そば
◆デザート(ブッフェコーナーにてご提供)
◆コーヒー(ブッフェコーナーにてご提供)

Bコース　和・洋 料理　お一人様(税金・サービス料込) 6,500円
◆オードブルバリエ
◆お造り二種盛合せ
◆マグロ洋風タタキ
◆秋刀魚けんちん焼
◆秋鮭の一口フライ
◆牛ほほ肉の赤ワイン煮込み
◆握り寿司 太巻寿司
◆椀子そば
◆デザート(ブッフェコーナーにてご提供)
◆コーヒー(ブッフェコーナーにてご提供)

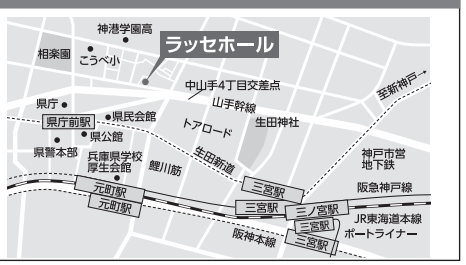
Cコース　和・洋 料理　お一人様(税金・サービス料込) 8,000円
◆焼茄子と無花果のマリネ
◆お造り三種盛合せ
◆マグロ洋風タタキ
◆鶏モモ肉と栗の柚子胡椒炒め
◆サーモンポワレ　茸クリーム
◆豚肉とサツマイモの味噌焼
◆握り寿司彩々
◆椀子そば
◆フルーツ&プチケーキ(ブッフェコーナーにてご提供)
◆コーヒー(ブッフェコーナーにてご提供)
<ライブ>◆牛ロース鉄板焼き

＋ フリードリンク
●瓶ビール　●ウイスキー　●ハイボール　●芋/麦焼酎　●赤白ワイン　●日本酒又はカクテル　●ウーロン茶　●オレンジジュース

フリードリンクは、1アイテムにつき300円で追加できます。
追加アイテム…
酎ハイ、梅酒、カクテル、ノンアルコールビールなど

注意事項
※記載メニューは食材の入荷状況により変更する場合がございます。
※料金には、お料理、フリードリンク、基本音響、照明(マイク2本付)、会場費(2時間)の料金が含まれます。
※ご延長の際は会場費とフリードリンク代金として30分ごとに一人あたり500円(税金、サービス料込)の追加料金をいただきます。

記載プラン以外にも、ご予算に合わせたプランニングをいたします。また、その他オプション等も多数ご用意しております。お気軽にご相談ください。

ご予約・お問い合せはこちら　078－291－1110
お問い合わせ時間　平日・土　9:00～19:00　日・祝　9:00～18:00

ラッセホール
〒650-0004 神戸市中央区中山手通 4-10-8
TEL.078-291-1117(代表)
FAX.078-291-0333
https://www.lassehall.com
E-mail info@lassehall.com
●JR、阪急、阪神、地下鉄三宮駅より1.1km